

提案募集における新規追加の提案 及び判断の基準等の見直し等の提案

1. 令和7年度の提案募集の概要について
2. 新規追加及び見直し等の提案一覧
3. 提案品目・提案内容に係る検討（物品・役務）

令和7年7月23日

1. 令和7年度の提案募集の概要について

■ 提案募集の概要

- ➡ 提案募集期間 ： 令和7年5月2日～6月2日
 - ➡ 提案件数 ： 物品14件、役務8件、公共工事10件、
 分野横断1件の計**33件**※
 - 提案募集に当たっては、温室効果ガス排出削減（CFP等の定量的環境情報の開示やカーボン・オフセットされた製品・サービス等含む）及びプラスチック資源循環に特に資すると考えられる提案、2段階の判断の基準の基準値1として国等の率先調達により初期需要創出への貢献が求められる先端的な環境物品等（GX製品等を含む）に関する積極的な提案を併せて求めたところ
- ※ 上記の分野・品目等については提案者の申告によるものであり、変更があり得る（現段階の品目等は次頁参照）。提案件数であって提案品目数ではない

■ 提案品目及び提案内容に係る検討

- ➡ 提案された資料を精査の上、必要に応じ、提案者に対する追加資料の提出依頼、ヒアリング等を行うとともに、提案品目に係る環境負荷低減効果、供給状況等を調査・確認し、新規追加又は判断の基準等の見直しに係る検討を実施

2. 新規追加及び見直し等の提案一覧【1/2】

- 新規追加の提案が**26品目**（物品・役務**16品目**、公共工事**10品目**）
- 判断の基準等の見直しに係る提案が**7品目**（物品・役務**7品目**）
- 分野横断（運用の仕組み等）の提案が**1件**※

※ 分野横断の提案は品目数には加算していない

分野（物品・役務）	品 目 等
インテリア・寝装寝具	使い捨てベッドシーツ☆②
自動車等	リニューアブルディーゼル☆
制服・作業服等	靴・履物①②、未利用バイオマス为原料とする合成繊維を使用したユニフォーム
災害備蓄用品	リサイクル繊維・植物由来合成繊維を使用した備蓄用おむつ☆、同じく備蓄用マスク☆、真空米櫃☆①、真空給水袋☆①、災害備蓄用ポータブルトイレの汚物処理用固化材☆①②
役務	モバイル充電器のシェアリング★①、自動窓口受付機（窓口受付システム）レンタル☆、小売業務におけるワンウェイのプラスチック製買物袋（レジ袋）②、SAFを活用した航空輸送役務（貨物輸送、出張時の航空利用）☆①、役務へのリニューアブルディーゼルの使用（庁舎管理、輸配送、旅客輸送（自動車））、食堂①
その他（物品）	水圧式洗浄機☆②、使い捨て手袋☆②、使い捨てガウン☆②、セルロースファイバーを配合した食器☆①、ストレッチフィルム☆②、空調用エアフィルタ★①
分野横断（運用の仕組み及び対象素材等）	原料としてバイオマス又はケミカルリサイクル由来特性を割り当てたプラスチックを使用した製品

注1：☆印又は★印の品目は新規追加の提案（★印は提案内容を踏まえ分野又は品目を変更したもの）

注2：①印は基準値1としての提案、②印は基準値2としての提案

2. 新規追加及び見直し等の提案一覧【2/2】

分野（公共工事）	品 目 等
資材	再生プラスチック繊維を用いた防草シート、石膏ボード、特殊針葉樹皮改良材、無焼成タイル、建設発生土土質改良土、リニューアブルディーゼル、建築向け外法一定H形鋼（削減実績量付）、高力ボルト（削減実績量付）、液中膜
工法	循環式ブラスト工法

注：公共工事については全品目が新規追加の提案

（１）分野横断の提案

- マスバランス方式によりバイオマス由来特性又はケミカルリサイクル由来特性を割り当てたプラスチック【バイオマスプラスチック又は再生プラスチックに係る判断の基準が設定されている全品目】
 - ➡ 第三者認証により保証されたマスバランス方式バイオマス又はケミカルリサイクル由来のプラスチックをすべてのプラスチックを使用した品目に導入すべきとの提案
 - ➡ 環境省より令和6年9月に公表された「プラスチック資源循環におけるマスバランス方式の活用に関する基本的な考え方※」を踏まえ検討してはどうか
※ 「①環境効果の把握」「②環境価値の適正な管理」及び「③適切な表示・コミュニケーション」の3つの要素を満たすことが必要とされている（[資料1](#)参照）
 - ➡ サプライチェーン全体のトレーサビリティの確保に関する仕組みの構築が重要ではないか（上流のみならず製品の製造段階まで）
 - ➡ 他の提案である「(2)⑨ 環境負荷の低い燃料（SAF）を活用した航空輸送の役務」「(2)② リニューアブルディーゼル」「(3)② 庁舎管理、輸配送、旅客輸送（自動車）で使用するリニューアブルディーゼル及びその混合軽油の利用」に関する検討と併せて実施してはどうか

（２）新規追加提案品目

① 使い捨てベッドシート【インテリア・寝装寝具】

- ➡ 生分解性素材（パルプ、レーヨン、PLA）を100%使用した使い捨てベッドシート
- ➡ 2段階の判断の基準の基準値2として提案
- ➡ 国等の機関の調達可能性、環境負荷低減効果（焼却時のCO₂削減効果、生分解の必要性等）、市場への供給状況、調達コストの低減見込み等を踏まえ、追加の可否等について検討を実施してはどうか

② リニューアブルディーゼル【自動車等】

- ➡ 廃食油、廃動植物油等を原料として製造される軽油代替のリニューアブルディーゼル
- ➡ 国等の機関の調達可能性、環境負荷低減効果（資源の有効利用、CO₂削減効果等）、市場への供給状況、調達コストの低減見込み等を踏まえ、追加の可否、追加する場合の判断の基準等について検討を実施してはどうか
- ➡ 役務の提案である「(3)② 庁舎管理、輸配送、旅客輸送（自動車）で使用するリニューアブルディーゼル及びその混合軽油の利用」、他の提案である「(1) マスバランス方式によりバイオマス由来特性又はケミカルリサイクル由来特性を割り当てたプラスチック」「(2)⑨ 環境負荷の低い燃料（SAF）を活用した航空輸送の役務」に関する検討と併せて実施してはどうか
- ➡ マスバランス方式の活用について検討が必要

（２）新規追加提案品目

③ リサイクル繊維・植物由来合成繊維を使用した備蓄用おむつ、同じく備蓄用マスク【災害備蓄用品】

- ➡ 使用される繊維のうち、再生プラスチックを原料とする合成繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した備蓄用おむつ・マスク
- ➡ 国等の機関の調達可能性、環境負荷低減効果、市場への供給状況（令和7年7月現在上市前）、調達コストの低減見込み等を踏まえ、追加の可否等について検討を実施してはどうか

④ 真空米櫃【災害備蓄用品】

- ➡ 電力を用いないポンプを内蔵した真空の米保存容器（特許有）
- ➡ 同一製品を10回以上破損・劣化なく使用可能、内容物（米等）を常温で半年以上保存可能
- ➡ 2段階の判断の基準の基準値1として提案
- ➡ 国等の機関の調達可能性、環境負荷低減効果、市場への供給状況、調達コストの低減見込み、現行の災害備蓄用アルファ化米との比較、特許技術（競争性の確保）等を踏まえ、追加の可否等について検討を実施してはどうか

（２）新規追加提案品目

⑤ 真空給水袋【災害備蓄用品】

- ➡ 災害時等に電力を用いない飲料水の保存・運搬用水容器（特許有）
- ➡ ２段階の判断の基準の基準値１として提案
- ➡ 国等の機関における調達可能性、環境負荷低減効果、市場への供給状況、調達コストの低減見込み、特許技術（競争性の確保）等を踏まえ、追加の可否等について検討を実施してはどうか

⑥ 災害備蓄用ポータブルトイレの汚物処理用固化材【災害備蓄用品】

- ➡ 使用済み食品残渣（バナナの皮、ミカンの皮等）を回収・再利用した有機・生分解性ポリマーによる災害時の汚物処理剤（土壌改良材として農業分野で普及・活用）
- ➡ 食品残渣由来有機物を100%使用したポリマーの災害備蓄用固化剤への活用
- ➡ ２段階の判断の基準の基準値１及び基準値２として提案
- ➡ 国等の機関における調達可能性、環境負荷低減効果、市場への供給状況、調達コストの低減見込み等を踏まえ、災害備蓄用品へのトイレの追加（副資材とのセット）の可否等を含め、検討を実施してはどうか

（２）新規追加提案品目

⑦ モバイル充電器のシェアリング【役務】

- ➡ モバイル充電器のシェアリングサービス（一定回数以上再充電・再利用することによる環境負荷低減）
- ➡ ２段階の判断の基準の基準値1として提案
- ➡ 物品（オフィス機器等）としての提案であるがシェアリングサービスであることから役務として検討することが適切ではないか
- ➡ 国等の機関における調達可能性、環境負荷低減効果、供給コスト、サービスの提供方法等を踏まえ、追加の可否等について検討を実施してはどうか

⑧ 自動窓口受付機（窓口受付システム）レンタル【役務】

- ➡ 期間限定の受付窓口を設置する場合の自動窓口受付機の機器レンタル
- ➡ 機器の整備・修理により7年以上対応（リユースに当たって回収後に清掃等と併せ次回使用に向けた検査、必要に応じた修理等）
- ➡ 国等の機関における調達可能性（一定程度存在するが限定的）、環境負荷低減効果、調達とのコスト比較、市場への供給状況（同様サービスの提供事業者等）等を踏まえ、追加の可否等について検討を実施してはどうか

（２）新規追加提案品目

- ⑨ 環境負荷の低い燃料（SAF）を活用した航空輸送の役務（貨物輸送、出張時の航空利用）【役務】
- ➡ SAFの活用による航空会社のGHG直接排出量の削減、その役務（貨物輸送、出張時の航空利用）の提供によるサプライチェーン全体のGHG間接排出量の削減への貢献
 - ➡ 航空利用者（旅客、荷主、代理店等）に対して航空会社等が温室効果ガス排出量及びSAF利用による削減効果を可視化※。利用者の間接排出削減への貢献を証明
 - ※ 国土交通省「SAF利用可視化ガイドライン（第二版）」（令和7年5月）準拠
 - ➡ 2段階の判断の基準の基準値1として提案
 - ➡ 環境負荷低減効果、SAF自体の供給見込み及びコスト低減見込み等を踏まえ、追加の可否等について検討を実施してはどうか
 - ➡ 国の機関における出張については旅費法との整合に留意が必要
 - ➡ 他の役務におけるSAF利用の可能性について検討を実施してはどうか
 - ➡ 他の提案である「(1) マスバランス方式によりバイオマス由来特性又はケミカルリサイクル由来特性を割り当てたプラスチック」「(2)② リニューアブルディーゼル」「(3)② 庁舎管理、輸配送、旅客輸送（自動車）で使用するリニューアブルディーゼル及びその混合軽油の利用」に関する検討と併せて実施してはどうか

（２）新規追加提案品目

⑩ 水圧式洗浄機【その他】

- ➡ 洗浄水にFB（ファインバブル：微細気泡）、UFB（ウルトラファインバブル）を使用した水圧式洗浄機
- ➡ 温水を使用する場合、従来の80℃温水と同等の洗浄力が60℃温水で得られることによる環境負荷低減効果（グリス等の油脂汚れ、塩害の原因の固着塩の除去）
- ➡ 2段階の判断の基準の基準値2として提案
- ➡ 国等の機関における調達可能性（直接調達は限定的）、環境負荷低減効果（洗浄水温度の低下による省エネ、水使用量の削減等）、コスト、市場への供給状況等を踏まえ、追加の可否等について検討を実施してはどうか
- ➡ 他の役務における活用可能性について検討を実施してはどうか

⑪ 使い捨て手袋、使い捨てガウン【その他】

- ➡ バイオマスプラスチックを10%以上配合した使い捨て手袋・ガウン
- ➡ 医療現場等で使用される使い捨て手袋・ガウンはリサイクルが困難（焼却処理・エネルギー回収）
- ➡ 2段階の判断の基準の基準値2として提案
- ➡ 国等の機関における調達可能性（直接調達は医療機関等に限定）、環境負荷低減効果、コスト低減見込み、バイオPE及び製品の市場への供給状況等を踏まえ、追加の可否等について検討を実施してはどうか

（２）新規追加提案品目

⑫ セルロースファイバーを配合した食器【その他】

- ➡ 木材由来のセルロースファイバー（CF）を約50%以上配合した食器
- ➡ 2段階の判断の基準の基準値1として提案
- ➡ 国等の機関における調達可能性（食堂において食器のリユース、リサイクル、リペアを配慮事項として設定済）、環境負荷低減効果（樹脂製と比較したCO2削減効果、高耐久性による長期使用等）、CFの供給見込み、コスト低減見込み、製品の市場への供給状況等を踏まえ、追加の可否等について検討を実施してはどうか

⑬ ストレッチフィルム【その他】

- ➡ 使用済みストレッチフィルム由来の再生原料を使用したストレッチフィルム（原料としてポストコンシューマ材料を10%以上使用）
- ➡ 2段階の判断の基準の基準値2として提案
- ➡ 国等の機関における調達可能性（直接調達は限定的）、環境負荷低減効果、コスト、市場への供給状況等を踏まえ、追加の可否等について検討を実施してはどうか
- ➡ 役務における活用可能性について検討を実施してはどうか

（２）新規追加提案品目

⑭ 空調用エアフィルタ【その他】

- ➡ フレーム（枠）を木材、濾材をPET/PP樹脂を使用した空調用の中性能フィルタ
- ➡ ２段階の判断の基準の基準値1として提案
- ➡ 国等の機関における調達可能性（直接調達は限定的）、環境負荷低減効果、コスト、市場への供給状況等を踏まえ、追加の可否等について検討を実施してはどうか
 - ✓ 空調用フィルタは建物の管理の状況、空調機器の種類等に依拠する場合があることから、令和6年度に提案された洗浄再生可能な構造の空調用フィルタについては、一律に判断の基準等として設定することは困難であるが、環境負荷低減効果を考慮し、調達者向けの推奨事項として記載

（３）既存品目に係る提案（判断の基準等の見直し）

① 未利用バイオマス为原料とする合成繊維を使用したユニフォーム【制服・作業服等】

- ➡ 未利用バイオマス（稲藁、バガス、キャッサバパルプなど）を原料とする合成繊維を25%以上配合（バイオベース合成ポリマー含有率10%以上）
- ➡ 2段階の判断の基準の基準値1として提案
- ➡ 環境負荷低減効果、市場への供給状況※、コストの低減見込み等を踏まえ、判断の基準等の見直しについて検討を実施してはどうか
※ 令和7年7月現在上市前。タンパク質繊維は来年から上市予定

② 靴・履物【制服・作業服等】

- ➡ ポストコンシューマ及びプレコンシューマ材料（ゴム・プラスチック）を回収・処理し、再資源化した再生ゴム・再生プラスチックを使用した履物
- ➡ 現行の靴は繊維製が対象。ゴム製やプラスチック製の靴・履物を対象に追加すべきとの提案
- ➡ 2段階の判断の基準の基準値1及び基準値2として提案※
※ 基準値1：再生ゴム又は再生プラスチック配合率30%以上
基準値2：再生ゴム又は再生プラスチック配合率20%以上
- ➡ 環境負荷低減効果、コスト、市場への供給状況等を踏まえ、対象範囲の拡大、拡大した場合の判断の基準等の見直しについて検討を実施してはどうか

（3）既存品目に係る提案（判断の基準等の見直し）

③ 小売業務におけるワンウェイのプラスチック製買物袋（レジ袋）【役務】

- ➡ バイオマスプラスチックを原料としたレジ袋の配合率の引き上げ（バイオマスプラスチック（バイオPE）の配合率を25%以上から50%以上）
- ➡ 2段階の判断の基準の基準値2として提案
- ➡ 環境負荷低減効果、バイオPEの供給状況及び今後の見込み、引き上げた場合の事業者等の対応、コストの低減見込み等を踏まえ、2段階の判断の基準の設定を含め、判断の基準等の見直しについて検討を実施してはどうか
- ➡ 現行の判断の基準はバイオマスプラスチックの配合率であるが、循環性基準設定の観点から再生プラスチックの使用（基準化）についても検討を実施してはどうか

（３）既存品目に係る提案（判断の基準等の見直し）

④ 庁舎管理、輸配送、旅客輸送（自動車）で使用する軽油のリニューアブルディーゼルへの代替【役務】

- ➡ 庁舎管理、輸配送、旅客輸送（自動車）で使用するリニューアブルディーゼル及びその混合軽油の利用（庁舎の設備・機器、自動車、船舶等において使用する燃料用の軽油の代替）
- ➡ 環境負荷低減効果、市場への供給状況、調達コストの低減見込み等を踏まえ、判断の基準等の見直しについて検討を実施してはどうか
- ➡ 他の提案である「(1) マスバランス方式によりバイオマス由来特性又はケミカルリサイクル由来特性を割り当てたプラスチック」「(2)⑨ 環境負荷の低い燃料（SAF）を活用した航空輸送の役務」「(2)② リニューアブルディーゼル」に関する検討と併せて実施してはどうか
- ➡ マスバランス方式の活用について検討が必要

⑤ 食堂【役務】

- ➡ 食堂内における飲食物の提供はGAP認証（国内はJGAP,ASIAGAP,GLOBAL G.A.P.）を取得した農産物又はこれを原材料とする加工食品
- ➡ 2段階の判断の基準の基準値1として提案
- ➡ 環境負荷低減効果、供給状況及び今後の見込み、2段階の判断の基準への設定、都道府県GAPの取扱いを含め、判断の基準等の見直しについて検討を実施してはどうか